

講義日程・時間

8月 28 日 月 曜日 1-2 限目

1. 授業科目名	救急処置の実際と学校保健		
2. 担当教員名	寺坂 勇亮		
3. 授業の概要	医療の発展に伴い、学校保健における初期対応の内容も高度化、細分化されつつある。さらに社会構造の変化とともに、学校保健に要求される社会の要求もさらに大きくなってきている。実際、患児の初期対応が適切に行われていない場合に、重篤な結果を招きうる場合がある。本講義では実際の学校保健の場面で遭遇する傷病について、現場で可能な具体的な救急・応急処置、引き続き医療機関に繋ぐ場合に必要とされる受診前情報の要点に関して提示、説明を行う。熱中症、創傷、アナフィラキシー、心肺蘇生(BLS)の救急・応急処置について主に学ぶ。		
4. 到達目標	学校保健で携わる機会の多い傷病についての初期対応、ならびに医療機関との連携(特に受診前情報の要点)に関して理解し、患児の安全を守る日々の学校保健業務に活かす。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	学校保健で遭遇する傷病の現状、ならびに適切な初期対応	講義
	2	学校保健で遭遇する傷病に対する処置の実際(主に一次救命処置について)	実技講習
6. テキスト・参考文献等	当日、資料を配布します。		
7. 成績、評価方法・基準	テスト(100点満点のテストで90点以上A,80～89点B,70～79点C,60～69点D,59点以下不合格)		
8・特記事項	2コマ目の授業は軽い実技講習を伴います。動きやすい格好で受講してください。		

		講義日程・時間	
		8月 28 日 月 曜日	3-4 限目
1. 授業科目名	学校・地域連携と防災・危機管理		
2. 担当教員名	瀧本 浩一		
3. 授業の概要	現在多くの災害が多発しています。本講義では、今後発生するであろう災害に対してまず基本となる危機管理、防災についての説明を行います。それをうけ、学校の危機管理の在り方、地域の中の学校であるという観点からの地域の防災について理解を深めるべく事例をあげながら解説します。		
4. 到達目標	本授業を通して、以下の項目の達成をめざします。 ①災害別に何が起こり、何が課題になるのかを理解できている。 ②学校での防災を進める上での流れ、観点、ポイントを理解できている。		
5. 授業内容・授業方法	コマ	授業内容	授業方法
	1	本授業を通して、以下の項目の達成をめざします。 ①災害別に何が起こり、何が課題になるのかを理解できている。 ②学校での防災を進める上での流れ、観点、ポイントを理解できている。	講義
	2	本演習を通じて、以下の項目が達成できるようにする。 ①災害発生時の被害把握について他の受講生と議論し、検討することができる。 ②災害後の初動対応について他の受講生とともに検討し、方向性を見出すことができる。	演習
6. テキスト・参考文献等	<参考文献> 講義の際に必要なありませんが、講義の話の詳細が掲載されています。 1. 日本の自然災害 M8.0大地震襲来(2.2 学校の地震対策)、瀧本浩一共著、ISBN978-4-931507-14-2、日本専門図書出版(高価な専門書なので図書館等でご覧ください) 2. 学研まんが新ひみつシリーズ 地震のひみつ、瀧本浩一他監修、978-4-05-203583-8、学研 3. 増補・改訂版 地域防災とまちづくり—みんなをその気にさせる災害図上訓練、瀧本浩一著、ISBN:978-4-87299-666-1、自治体議会政策学会叢書、イマジン出版		
7. 成績、評価方法・基準	10分程度の災害対応に関する試験を実施し、その結果で評価します。		
8・特記事項	講師の情報は下記のホームページに掲載されています。 http://takky.main.jp/		